

# 白井国際交流協会・語学教室のご案内

初回：無料見学可

※受講者の方は協会に入会していただきます。

連絡先：林 (090-3497-6959)

年会費：個人会員 2,000円

2023年9月1日現在

講座	クラス	講師	回数 /期間	曜日・時間	受講料	場所
英会話	基礎 クラス	日本人	全18回 /半期	毎週土曜日 17:00~19:00	10,800円	白井駅前センター
	初級・昼間 クラス	日本人	全15回 /半期	毎週木曜日 10:00~12:00	9,000円	しろい市民まちづくり サポートセンター
	初級・夜間 クラス	アメリカ人	全20回 /半期	毎週火曜日 19:00~21:00	18,000円	白井駅前センター
	中級 クラス	アメリカ人	全15回 /半期	毎週木曜日 19:00~21:00	13,500円	白井駅前センター
スペイン語	—	スペイン人	全20回 /半期	毎週金曜日 19:00~21:00	18,000円	西白井複合センター
中国語	初級 会話	中国人	全20回 /半期	毎週木曜日 14:00~15:30	17,000円	白井駅前センター (現在はオンライン)
	中級 会話	中国人	全20回 /半期	毎週水曜日 10:00~11:30	17,000円	白井駅前センター (現在はオンライン)
	中・上級 会話	中国人	全20回 /半期	毎週土曜日 15:20~16:50	17,000円	白井駅前センター (現在はオンライン)
日本語 (外国人市民向け)	昼間 クラス	日本人	3~4回 /月	毎週金曜日 10:00~11:45	1,000円 (月)	白井市役所 東庁舎101会議室
	夜間 クラス	日本人	3~4回 /月	毎週火・水曜日 19:20~20:50	1,000円 (月)	西白井複合センター



2023年9月  
No. 90

編集発行  
白井国際交流協会  
広報部会  
〒270-1431 千葉県白井市根 116-32  
川上ビル2F 202号室

## 地域社会の国際化を目指して活動する白井国際交流協会

令和4年度活動を振り返り、明日に向け前進！ 会長 林章

当協会は、異文化を楽しく学ぶことを目的に大使講演会を開催しております。過去30年間に31名の大使にご講演を頂き、毎回白井地域の皆様にお楽しみ頂いている自慢の行事です。しかし2020年以降はコロナ禍により開催中止が続いておりましたが、昨年度はジョージア大使をお招きして3年ぶりに開催でき、ご来場の皆様にご満足頂けたのではないかと自負しております。内容につきましては、誌面内にてご紹介させて頂いております。世界のダンス&フード・フェスティバルも当協会自慢の行事で、昨年度は3年ぶりに開催させて頂きました。しかし食品の提供には不安もありましたので、世界のダンス&ミュージックフェスティバルと名称を変更して開催し、フードの提供はできませんでしたがご来場の皆様にお楽しみ頂きました。こちらも誌面内でご紹介しております。また、当協会では1996年から市民を対象にオーストラリアの友好都市キャンパスピ市訪問ツアーを実施しています。友好都市では一般家庭でのホームステイを体験し市民との交流を深めています。またキャンパスピ市からも訪問団が来市し、ホームステイや歓迎パーティなど通じて友好親善に貢献している活動です。昨年は実施に向け企画しておりましたが、受入先の水害復興のため実施延期となりました。

現在、来年度の実施に向けて現地受入態勢の調査中です。実施が決定しましたら皆様にご案内させていただきますので、よろしくご協力ください。



当協会の活動は、行政からの委託を受け、地域の皆様のご支援とご協力で実施しております。

地域の今を考え、より必要性のある活動に向け今後も一歩一歩着実に前進していきます。幸い今年度も素晴らしい人材に入会頂きましたので、誌面内でご紹介させて頂きました。

白井市は千葉県内で内陸にて最大の工業団地を抱えております。そこに働く外国人市民が必ず増加すると思えます。外国人市民の皆様が安心して暮らせる施策を準備する必要性を頓に感じております。当協会としても、日本語教室を通じて受講者の皆様に日本の伝統文化紹介(書道、ソロバン操作・製作)年間行事(書初め、ひな祭り、こどもの日、七夕祭り)等、楽しくご参加頂いております。「住みよいまち白井市」を目指し活動していきますので、皆様のご支援ご協力の程よろしくお願い致します。

## 「白井市国際交流まつり」を新規開催！

10/8に「国際親善の日」として、今年度からの新規行事「白井市国際交流まつり」が開催されます。皆様のご参加をお待ちしております。(主催：白井市 協力：白井国際交流協会)

**白井市国際交流まつり**

2023年10月8日(日)  
@白井市公民センター 10:00~15:00

主催：白井市企画政策課  
協力：白井国際交流協会

Let's play together : 皆で遊ぼう  
Lunch food : キッチンカーも来るよ  
Japanese traditional culture  
日本の伝統文化を体験してみよう!!

📍 : 詳しくは白井市役所企画政策課へ TEL: 492-1111



白井国際交流協会  
事務局

〒270-1421 白井市根116-32 川上ビル2F 202号室  
Tel & Fax : 047-497-3040  
E-mail: ifas@bz04.plala.or.jp

## IFAS 新任役員・新任理事のご紹介

### 新事務局長：岡田 繁（おかだ しげる）

新しく事務局長に任命されました岡田繁です。白井市の出身で高校を卒業してから都内での生活が始まり、4年半前に老々介護の両親のサポートをする為に35年ぶりに白井市に戻ってまいりました。現在は92歳の母親と二人で生活しています。

大学卒業後はワーキング・ホリデー制度を利用してオーストラリアに1年間滞在しました。帰国後、社団法人日本ワーキング・ホリデー協会、オーストラリアで誕生した旅行会社で働き、20年前に独立してオーストラリアに特化した旅行会社をスタートしました。私にとってオーストラリアは第2の故郷ともいえる国です。

さて、私が事務局長として行いたいこと。それは、会員の方々は皆さま、海外での生活体験をお持ちの方や興味深い経歴の持ち主の方が多く、皆さまの得意分野を發揮していただき、白井市の国際化に力を入れていきたいと考えています。また、30年間ほど続く青少年派遣で1,680名の白井市民とオーストラリア市民が両国を行き来しています。青少年派遣の若者を中心にジュニア会員の普及に力を入れていきたいと考えています。岡田が事務局長になり、協会が面白くなってきたと言われるよう頑張りたいと思います。



ケアンズの自転車イベントでボランティア仲間と

### 新理事：森 姫乃（もり ひめの）

はじめまして。この度、役員の仕事をしていただくことになりました、森と申します。白井市に家族で住み始めて17年になります。スペイン語初級クラスでは3年ほどお世話になっております。

国際交流協会に入会したきっかけは、東京オリンピックでボランティアをしようと考えていたからです。スペイン語で簡単な挨拶が出来ればと、近くで学べる場所を調べ入会しました。最初はついていけるか心配でしたが、先生方も皆さんも大らかで優しい方ばかりで、楽しく授業を受けることができています。

結局、ボランティアはコロナへの感染が気になり辞退しましたが、今は簡単な会話ができるようになりたいと何とか続けています。

微力ですが国際交流会活動のお手伝いが出来ればと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



## そろばん博物館春・夏のフェスタ



4月2日（日）そろばん博物館春フェスタに参加、当協会は、みたらし団子、ホットコーヒー、アイスコーヒー、フルーツジュースを販売させていただき、全ての品目をご来場者に好評を得るほど完売いたしました。

毎回のフェスタに参加して感じる事は、そろばん博物館及び石戸珠算学園のスタッフの皆様そろって芸達者であり、フェスタの都度テーマを決め、役作りを楽しんでいる様子がとても素晴らしく、ご来場の皆様を心から歓迎する思いが強く伝わります。

イベントは、10時～ウォークラリースタート、オープニングセレモニーで始まる、老いも若きも共に楽しめる素晴らしい内容でした。

当協会からも「はしそろびっく」に日本語学習者を含む精鋭3名（1チーム）で参加させていただき優秀な結果を残しました。中でも、日本語を学習している外国人の方が精鋭三名の中で一番良い成績だったことに驚きを禁じ得ませんでした。そこで、早々に「はしそろびっく」練習セットを購入、夏のフェスタに向けて鍛錬の日々を送って頂いております。

8月6日（日）鍛錬の結果を出せるか？そろばん博物館夏祭り参加、今回は、ホットドック、アイスコーヒー、フルーツジュースを販売させて頂きました。それと共に、「はしそろびっく」今回は精鋭6名（2チーム）で参加、見事な結果を残せたと思います。

そろばん博物館フェスティバルは、会場が最寄りの駅より多少離れているため、博物館にてシャトルバスまでご用意、来場者に優しく、来場者ファーストの姿勢が随所に見られます。

私達、白井国際交流協会も年間事業の一環として複数のイベントを開催し多くのご来場者をお迎えいたします。イベントを開催する側として最も大切なことは、自分自身、準備開催の過程を楽しむことが一番大切だと思います。

そして、ご来場の皆様を笑顔でお迎えし、笑顔

でお送りする事が出来ればほぼ開催成功だと思います。

そろばんフェスタに参加するたびに勉強になる部分が多々あります。後援団体として、機会あるごとに参加、出店し、微力ながら白井地域の活性化を目指すと共にご来場の皆様楽しんでいただける活動を実践いたします。

（記：林 章）



## まちサポひろば



9月9日（土）しろい市民まちづくりサポートセンター（まちサポ）の様々なジャンルの登録団体が、市民の皆さまに自分たちの活動や市民活動の魅力を知ってもらい、興味を持ってもらえるように工夫をされて、実行委員会形式にて“まちサポひろば”が開催されました。当協会の林会長・吉井副会長が、実行委員会委員長・副委員長となり、大きな力を発揮されておりました。

また、ブース出展では、当協会の活動をモニターで紹介したり、コーヒー、マンゴージュースやみたらし団子などの販売しました。来場者の皆さまとコミュニケーションを取りながら、楽しいひとときを過ごすことができました。もっともっと白井市が素敵な街に、魅力ある街に、力を合わせて向かって行けそうな思いを感じられる一日となりました。

（記：菊池 由紀子）

## 新理事：河内 康郎（かわち やすろう）



チャールズリバー河畔にて家族と

令和4年5月より白井国際交流協会の日本語部会に入会し、本年6月の定期総会にて理事の末席に就任させて頂きました。本協会に入会して1年余りですが、今更ながらこれまでの国際交流協会の多方面にわたる活動と、理事をはじめ会員の皆様の献身的な活動への取り組みに感銘を受けております。

私共一家は平成8年より3年間程私の仕事の関係で米国北東部のボストン近郊にあるレキシントンという街で過ごしました。ボストンは世界有数の学都ですが、歴史の新しい米国においては建国の歴史に大きく関わった地でもあり、至る所に歴史的モニュメントを見ることができます。歴史好きな私にとっては大いに楽しんだ海外生活でした。

二人の子供達も現地の学校に入学させて頂き、気が付けば英語の発音は親よりうまくなり、発音を訂正させられる始末です。

米国の公立学校では第一言語が英語以外の生徒にはESL(English as a Second Language)クラスというのが用意されて、英語がまだ不得意な

子ども達の英語指導を学校が支援してくれます。私達にとっては大変有難い制度でした。

現在、私は地域で生活する外国人や、地元の高校で勉強している外国籍の生徒に日本語学習を支援させて頂いていますが、私達が米国で助けて頂いたように日本で生活する外国籍の皆さんに少しでもお役に立てればと思っています。

米国からの帰国後は国際交流協会によるオーストラリアへのホームステイに子供たちが参加したり、またホストファミリーをお受けしたり致しました。日本が世界とより強い関係構築が求められる今日、本協会のこうした取り組みが子供たちの成長をも支えて頂いたものと信じています。

私の次男はフィリピンのお嬢さんと結婚し、私達にもハーフの孫が二人できました。最近バイリンガルの彼らから楽しく英語を教えてもらっています。

私自身もその後インドの会社に10年間程籍を置き、多くのインドのビジネスマンやエンジニアとの出会いがありました。皆とてもアグレッシブでいい意味で主張もはっきりしており、その上昇志向も大変なものです。14億の人口の中で激しい競争を勝ち抜いていかねばならない社会が背景ではありますが、日本の若者達も彼らと切磋琢磨しつつ、世界をリードして行って欲しいと願います。

以上で新任理事のご挨拶にかえさせて頂きます。

## 新理事：手塚 與文（てづか ともふみ）

私はこの白井市堀込に転入して5年半が経過しました。生まれ育ちは仙台市、大学卒業と同時に就職、勤務地として静岡市に移動。3度の単身赴任勤務(そのうち1度は上海)も経験。定年退職を前にして病気を患い継続勤務を止め退職致しました。退職後はのんびりと療養生活。半年ほど経過すると体調は極めて良好、毎日が退屈で退屈で辛くなりました。そこで駐在経験もある上海を訪問することにしました。上海の中国人老朋友(親友)が集結し酒宴の場を設けて中国人老朋友皆私の身体を心配していて私との再会を喜んでくれました。私も大感激。

白井市に移動して1年ほど経過した頃、広報しろいを見ていたら『中国語教室』という文字が飛び込んできました。そこで考えたのは①上海駐在中真面目に勉強しなかつたので改めて中国語に挑戦してみよう(痴呆予防)②上海を話題に交流もできそう。そう思ったなら直ぐに中途入会のメールを送信していました。中国語教室入会して4年間ほど経過しました。私の狙い通り、週一の中国語教室は適度に脳を刺激してくれます。また飲み友達が来て定期的コミュニケーションを通して脳を活性化してくれます。在宅時間の多い皆様、高齢者の仲間入りされた皆様、友人を求めている皆様、動機は何でも構いません。中国語教室に参加してみても如何でしょうか？

多くの友達が皆様のお越しをお待ちしております。



## 昨年度の活動報告

### ジョージア大使講演会



2022年12月3日(土) 文化会館大ホールに駐日ジョージア特命全権大使ティムラズ・レジャバ閣下をお招きして、第31回大使講演会を開催しました。

大ホールには白井市のほか千葉県内からは9市、県外からは1都5県の方々がお越しになり大盛況で、ジョージア国に対する関心の高さを物語っていました。

ティムラズ・レジャバ大使閣下は極めて流暢な日本語でダヴィド・ゴギナシュヴィリ博士(駐日ジョージア大使館専門分析官)とともにジョージア国の魅力を地理、気候、歴史、民俗、風俗、経済、文化、食文化(ハチャプリ、ヒンカリ、ワイン発祥のジョージアワイン等々)など様々な分野にわたって丁寧且つわかりやすく講演されました。

ジョージア国は人口約400万人、面積では日本の約5分の1で北海道より一回り小さい国柄ですが、5000メートル級の山々が連なる大コーカサス山脈から黒海沿岸にいたるまで多様な自然環境に恵まれている大変に興味深い国で、日本人にはコーカサス3国の1国としてもなじみ深い存在です。

大使閣下はまた、「以前はロシア語由来の『グルジア』と呼称されていたが、現在では英語由来の『ジョージア』を正当としているので、今後は是非とも『ジョージア』として覚えていただきたい」と強調されておられました。

(記：吉井 信行)

### 世界のダンス&ミュージックフェスティバル



2023年3月5日(日) 笠井市長の挨拶に続いてダンシングキャッツ総勢40名の元気いっぱいのオープニングダンスから“2023世界のダンス&ミュージックフェスティバル”はスタートいたしました。

オープニングを飾って頂きましたダンシングキャッツは「ダンスで人の心は動く」と信じて練習に励み、会場に元気を運んで頂きました。

続いて栗谷川美希さんとお仲間によるソプラノ歌唱。イタリア音楽留学経験のある栗谷川さんの素晴らしい歌唱に、ミラノの風を感じました。

そして橋本京子さんとお仲間(アロハフラナニ)のハワイアン・フラ「明るく楽しく美しく健康に」ハワイのワイキキの波音が聞こえるようでした。

続いて、リーダー飯尾敏彦さんとお仲間(桜ぶき)によるよさこいソーラン、いつものながらの迫りに圧倒されました。

そして、花ヶ崎純子さんのソプラノ独唱、いつも素晴らしい歌声とともに、来場の皆様との合唱も楽しませて頂きました。

続いて、永野啓三さんがバンドマスターを務める、スイング・ホワイト・ジャズ・オーケストラ「楽しい仲間と楽しくスウィング」することを目指して、結成されたフルバンドのジャズ・オーケストラ、楽しい演奏をお聞かせ頂きました。

そして、ペルー出身のホセ&アナスハラさんが率いるマリネラ「ペルーの伝統的ダンス」で素敵な民族舞踊をご披露頂きました。

最後はダンス大会、ホセさん率いるマリネラグループのご指導で、来場の皆様と共に楽しいひと時を過ごさせて頂きました。

3年ぶりの開催でしたが、ご来場の皆様のご協力でも事に終了いたしました。皆様の笑顔に出会い、開催の準備、苦勞がすべて癒され次回開催への勇気を頂きました。心からお礼申し上げます。

なお、当日の動画(撮影・編集 浪川喜一さん)を当協会のFacebookまたは白井市公式YouTubeにてご覧頂けます。是非ご覧ください。

(記：林 章)

## 今年度の活動報告

### 2023 ワーキング キッズ アドベンチャー



昨年に続き、今年は7月29日に「ワーキングキッズアドベンチャー」が白井第一小学校で開催されました。

本行事は子供達が色々な職業の体験ができるイベントで、校舎の1階から3階の教室に多くのブースが設営され、約200人の小学生が目をキラキラさせて、それぞれ希望の職業/企業の教室で体験活動をしていました。

保護者の方や指導をされた方々を含めると、450人近くの方が集まり、受付は長蛇の列となりました。当協会は飲物販売の協力をさせて頂き、アイス、コーヒーとお茶を販売しました。

(記：江波戸 洋子)

### ばらっぱまつり



当協会ブース出店

7月8日(土)白井市公民センターでばらっぱまつりが行われ、当協会も飲み物(コーヒーやジュース)とみたらし団子の模擬店で参加しました。

このまつりは、公民センターと第二小学校区の地区社協が協力して行っているもので、コロナ禍で2年中断しましたが、昨年午後だけに絞って行われ、当協会も誘いを受けて初参加しました。イベント名が示す通り「ばらっぱまんじゅう」の販売が人気があり、昨年も今年も10分で完売してしまいました。



染物体験

イベントとしては、昔遊びやゲーム、染物体験など楽しい事、郷土史やふるさとガイドの会及び地区社協やまちづくり協議会の展示、それに地域のお店が提供する食べ物や地元の野菜の販売などがあり、当協会もPRを兼ねながら模擬店を開きました。今年は第二小学校の協力もあり子供が多く集い、例年になくにぎわいました。

在来地域での活動に参加する事により、当協会の活動範囲がさらに広がって行ければいいと思います。

(記：小林 正継)

### 新理事：樽見 秀爾 (たるみ しゅうじ)



初めまして。この度、就任しました樽見秀爾(たるみしゅうじ)と申します。どうぞ宜しくお願い致します。私と協会との接点は、3年前に遡ります。林会長宛の書面にて外国人市民への日本語支援をお願いさせて頂いたことに端を発します。

お蔭様で、嘗て海外生活でお世話になった方々に“恩返しをしたい”という念願は、外国人市民の日本語支援によって第一歩を踏み出すことが出来ました。この1年間は出来るだけ多くの協会主催のイベントに参加して現場感覚を養うことに務めました。自分の眼と足で、各種の活動の実態を知りたかったからです。結果として、諸先輩理事の皆様のご熱心且つ習熟したイベント運営に目を見張り大いに触発されました。

さて、日本語部会について少々ご紹介させて頂きます。日本語教室は週に3クラスを運営しています。学習者29名(スリランカ・インドネシア・フィリピン・タイ・イラン・ミャンマー・メキシコ・アメリカ・ネパール・中国)が日本語習得を目指しています。

昨今、日本語学習を希望する外国人市民は増加の一途にあります。11名の日本語支援者は教室活動に加え、定例会や検討会に参加して、白井日本語教室ならではの展開について模索しています。

“啐啄”※(そったく)の言葉の意味を噛みしめつつ、微力ではございますが、持てるエネルギーを発揮して参りたいと存じます。末筆となりましたが、会員皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

### 新理事：渡邊 信治 (わたなべ しんじ)

初めまして。元々私は千葉県で公立高校で英語教員として38年間勤めておりました。生徒たちの国際交流に関わる事が多く、特に海外へ行く生徒には私自身の経験を共有してまいりました。

その中でも、30年前に英語研修でイギリス・ケンブリッジに行き、その後スイスを訪れた出来事が印象深いものでした。スイス中部の都市ルツェルンでのバス観光中、ガイドのスイス人との問題が生じ、初めは日本人参加者との誤解もありましたが、率直な対話を通じて誤解を解き、楽しい交流が実現しました。

この経験から、人種や文化の違いが誤解を生むこと、そして、互いを理解し合うことで争いを避けられることを学びました。私はこれを大切な教訓と考え、国際交流協会でのメンバーとして、異なる国々の人々との交流においても、互いの違いを尊重し合い、良いコミュニケーションを築いていきたいと思っております。

これからの活動で、お互いの豊かな文化や考えを共有し合い、友情と理解を育む場を提供できれば幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

